

伊賀市文化振興プラン前期実行計画に基づくヒアリング概要

実施日 令和7年1月23日（木）
場 所 伊賀市役所本庁 201 会議室
テーマ 基本方針7「文化芸術を通して社会的課題に取り組みます」
対象課 商工労働課

内 容

- ・伊賀市の伝統的工芸品である伊賀焼や伊賀くみひもに親しみ、地域固有の歴史や文化に対する関心を高め、認知度向上と振興を図る「伝統的工芸品文化振興事業」の事業カードを提出している。小中学生を対象に、各協同組合と連携し行っている。
- ・伊賀焼の事業は、小中学校からの応募に対し、伝統工芸士1人を含む組合員によるアウトリーチ。希望校が多いが、伝統工芸士が少ないため、可能な範囲での対応となる。
- ・伊賀くみひもは、伊賀伝統伝承館において伝統工芸士による体験教室を実施。参加者は20名程度で、もう少し増やしたい。必要な道具などがあるため、アウトリーチは難しい。
- ・産業と文化と、異なる部分もあれば重なる部分がある。生業としている事業者もいれば、芸術作品として携わっている人もいる。デザイン重視、機能性重視、手作成か機械による量産かなど様々である。
- ・商工労働課では、ゆめテクノ伊賀こども大学の事業もある。
- ・伝統産業に限らず広く企業との連携を進めていきたい。

《文化振興課、文化都市協会から》

- ・産業と文化とは、子どもや大人の体験機会の提供、担い手や後継者育成、企業との連携など、広く関わりがある。
- ・伝統工芸品は、産業でいうと伝統工芸、文化でいうと伝統文化。
- ・事業を提供する側の人材不足について、継続事業で行き詰まってきた時、新たな視点で相談してみると方法が見つかることがある。文化振興課やふんとへ、文化的側面から差し込んで欲しいなどあれば相談してほしい。
- ・学校アウトリーチは音楽のメニューの実施が多いが、アンケートにおいて、伊賀焼やくみひもを希望する回答もある。
- ・子どもたちが文化芸術を体験できる機会の拡充には、大人の興味・関心が大切であることから、今年度初めて企業へのアウトリーチを実施した。今後の企業でのアウトリーチや文化振興プランの周知に協力いただきたい。
- ・伊賀市人権学習企業等連絡会などの機会を捉えて、企業に向けて、文化政策は人権政策であるとする文化振興プランや、子どもたちが文化に触れる機会を親世代から関心を持つための企業アウトリーチの案内などをお願いしたい。